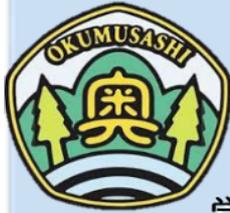


奥武蔵創造学園

飯能市立奥武蔵小学校だより



# おくむさし

No. 11

令和2年1月8日

学びあう子

支えあう子

きたえあう子

校長 安田 孝之

## 正念場を迎える2020年！

あけましておめでとうございます

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

令和はじめての正月は、穏やかに迎えることができ、事故や災害の被害がなく、みんなが健康な一年でありますようにと祈願しました。

奥武蔵小学校2年目を迎える今年は、小中一貫校としての姿を内外にしっかりと示すことが最重要課題ととらえています。昨年の7月～12月においては、教育条件の整備（施設面や教育機器等の環境整備）が市財政の支援のもと重点的に行われたことは周知のとおりです。ハード面が充実されたことにより、その環境を生かして教育内容を充実させることが今年のミッションといえます。まさに、正念場を迎えます。

また、今年は学校と地域をつなぐ環境づくりも重要課題のひとつです。「学校運営協議会（コミュニティスクール）」が来年度から市内全校に設置される予定です。これは、奥武蔵創造学園の基本構想に掲げられている柱のひとつですが、県内でも有数の広範囲の通学区域を有する環境のもと、小中一貫校の具現化を図るうえでのバックボーンにもなります。具体像は、年度内に中学校と協働作業のもとで明らかにさせていく予定です。

本校は統合に伴い、学び合いによる授業を中心に教科指導を行っていますが、毎月の校内授業研究や他校の授業視察等を通じて一層の

充実が図れるように努めています。新たな取組は体力面でもコーディネーショントレーニングを導入して楽しみながら体づくりができるように試みています。子ども達の生活環境が統廃合により変わったことを受けて、ICTの活用を含めて21世紀型教育の具現化がいま求められています。三学期は、年度末の学校評価をはじめとした年度のまとめを行うとともに、来年度に向けての助走が始まっています！！

### アンケートのご協力ありがとうございました

学校運営に関するアンケートを12月に実施しました。

7月に続いて、2回目の実施となりましたが、ほぼ全員の保護者のみなさまにご協力をいただきました。

ありがとうございました。

概要は次頁のとおりです。学校が取り組んでいる様子に前回よりも理解が深まってきた印象を受けました。しかしながら、まだまだ十分とはいえない状況を真摯に受けとめて次年度に向けて生かしてまいります。

自由意見欄は、紙面の都合上すべてを記載することはできませんが、全教職員で内容を共有するなか必要な改善に向けては、早速取り組んでまいります。

